

2009年度 日本J/24クラス協会 理事会 議事録

日 時：2009年1月24日（土） 11:00～16:00

場 所：愛知県名古屋市 白鳥庭園内 清羽亭-立礼席

出席者：関東（畠山、町田）、東海（早川、横田）、関西（坂本、中野）、
九州（高野）

欠席者：関東（平出）、九州（宮崎）（以上以下敬称略）

1. 会長挨拶（議長、書記選出）

議長：畠山 書記：町田 が選出されました。

2. 2008年度 会計報告および会員登録報告

(1) 会計（町田）

◇2008年度（1月～12月）の会計報告を実施。

<2008年度単年度収支>

収入 : 2,393,011 円

支出 : 2,337,412 円

次年度繰越金 : +55,599 円

◇ J24、JSAF の収入について、会員項目（正会員、準会員等）ごとの詳細な報告ができていなかったため、2009年度より詳細な報告ができよう努力する。

(2) 会員登録（早川）

◇会員カード

郵送の未着、会員発行の遅延の問題、郵送費用削減、及び登録担当者の作業負軽減などの観点より、2009年度より、紙ベース（カード現物で）の協会メンバーカードの発行を廃止し、電子データで登録証を発行することとする。

代替方法はPDFファイル化したデータをメールにて発送をします。

詳細は、後日協会HP上で公開します。

◇ マガジン、ルールブック等

現状通り、ヤマトメール便にて発送します。

3. 各支部報告

(1) 関東支部(畠山)

日本 J/24 クラス協会 関東支部 2008 年度活動報告

作成者：平出篤志

◇ 春 関東選手権

三浦外洋セーリングクラブ、小網代ヨットクラブおよび Platu Club、Melges クラス協会との共同主催の形をとり、「相模湾スプリングレガッタ 2008」
として開催した。実際には悪天候のため、レースは成立しなかった。

◇ 海の日

シーボニアヨットクラブ主催の相模湾オープンヨットレース(7月20日)にあわせて、関東フリート合同の新人勧誘を行なった。関東フリート関係者の知人・友人
でヨットに興味のある初心者に声をかけて参加者を募り、関東フリート所属の
レース参加艇にそれぞれ3～5人ずつ割り振って“試乗会”をおこなった。
レース後はゲストとともにレース委員会主催のパーティに参加した。

◇ ミッドサマーレガッタ

関西からシエスタ、東京湾からリジッドサポートの参加があった。

◇ 秋 関東選手権

世界選手権の出場枠が設けられたため、簡易計測を実施した。
全艇共通の計測ポイントは以下のとおり。

Measurement Form PART D BOAT MEASUREMENTS

- Item : 18 Rule : 3.5.3b

Height of forestay attachment above sheerline (I) abreast forward surface of mast

MIN : 8125 —

- Item : 19 Rule : 3.5.3c

Distance between fixing point of the forestay on mast and intersection of stemline
and sheerline

MIN : 8595 — MAX : 8670

- Item : 20 Rule : 3.5.2b

Distance from bottom mast band to the stem at sheerline

MIN : 2895 — MAX : 2925

そのほか、必要な艇については艇体重量計測(3艇)、キール計測(2艇)、セール計測(2艇)を行なった。

関東フリート新規参入のスリーボンドのほか、関西からシエスタ、東京湾からリジッドサポートの参加があった。

◇ 第8回全日本ブラインドセーリング選手権 (9/27、28)

全日本ブラインドセーリング選手権の開催に当たり、日本視覚障害者セーリング協会(JBSA)へ艇の貸し出しの協力を行なった。

関東フリート所属の5艇が貸し出され、JBSA 所有艇1艇を含めた6艇で開催され、2日間で全7レースが消化された。

(2) 東海支部 (横田)

◇ 東海支部として J24 クラスの活動はありませんでした。

◇ 2008年10月の女子マッチレースを開催しました。

使用艇として J 24 が採用された。

2009年も開催するかは、未定。

◇2010年の全日本選手権は、日産マリーナ東海にて11月を予定しています。
チャーター艇の用意を検討中です。

(3) 関西支部 (中野)

◇KYC 主催で、6レース、春と秋にレガッタを実施しました。

参加艇は、6~7艇。

◇2009年全日本選手権の開催地のため、大会の準備をしています。

(4) 九州支部 (高野)

◇ 例年通りミッドウインターを開催。

◇ 2月から12月に毎月フリートのポイントレースを実施。

フリートの現参加艇は8艇。

◇2009年のミッドウインターは、2/21、22 に決定しました。

詳細は、九州フリートの HP を参照方。

4. 2008年度 全日本選手権大会の報告 (高野)

2008/11/20~24 参加艇22艇で開催され、大会初の新規チーム (TreeBond J24) が優勝しました。

5. 2008年 WCM 報告（早川）

2008年10月4,5日 アメリカ アナポリスにて開催されました。

◇ルールの変更点で、重要な項目は、ジェノアのセールクロスの変更が提案されました。詳細は、後日報告あるとのこと。

◇世界選手権の今後の予定

2009年 アメリカ（アナポリス）

2010年 スウェーデン

2011年 アルゼンチン

2012年 アメリカ

◇ 今回の会議は、今後の J/24 クラスの方向性が主題となり多くの時間がそのことに費やされました。

6. 計測（高野）

◇2009年全日本選手権の艇長会議で質問があった件は、後日計測委員会より協会 HP 上に回答を掲載します。

◇JSAF に提出する計測員の名簿を作成します。

◇計測用紙の見直しをします。

◇計測委員会を開催予定。日程は現在調整中。

◇レガッタ計測について

レガッタ計測の趣旨は、その大会において、艇がクラスルールを満たしているのかを確認する事をレース委員会が求めており、計測員は計測マニュアルに従い計測を行うものである。

計測員は、その結果をレース委員会に報告する。

艇は常にクラスルールに合致するように整備されていなければならない、クラスルールに合致していないとの報告を受けたレース委員会はその艇に対し、「規則違反による抗議しなければならない」とされているものであります。

◇2009年関東選手権（秋）の計測実施要綱について

基本的に2008年の計測要綱と同様。

- 2007年全日本選手権以降フル計測をしていれば、フル計測の必要はない。
- 2007年全日本選手権以降、大きな改造をした場合は、フル計測が必要。
なお、大きな改造が、以下のどちらかの大会に参加し、その後の大きな改造がなければ、フル計測は不要。
 - 2008年関東選手権（秋）、
 - 2008年全日本選手権

7. 2009年度世界選手権 参加艇の状況（坂本）

全日本枠：5 艇 関東枠：1 艇

参加表明チーム：TreeBond J24、Siesta Rosa、月光（関東枠）、STELLA の子、
TEMPUS 3

現在、1 つ枠が残っており、2008 年度全日本選手権の参加チームに上位から参加意思を確認中。

なお、世界選手権に参加されるチームに対して、帰国後協会事務局まで、レポートの提出を要望する。

理由は、計測状況やレース運営等、世界選手権の現状を協会としても知っておく必要もあり、協会のメンバー全体で情報共有するためであり、特に計測の手法などは重要な情報である。

様式はフリーフォーマットとする。

8. 世界選手権選考基準(中野)

中野理事より選考案の原案が示されました。

一部保留項目があるため、決定次第、協会 HP 上へ掲載します。

9. 2009 年度 全日本選手権大会（中野）

大会日程案を以下の 2 通り検討中。

(1) 計測 11/14,15 レース：11/20～23

(2) 計測 9/12,13,19 レース：9/20～23

最終決定は、4/1 とします。

10. 理事改選について

2010 年度より、坂本理事が会長を畠山会長より引き継ぐことになりました。

11. 協会内規定（町田）

(1) 慶弔規定

慶弔費について議事が挙げたが、現状不要との判断となった。

(2) 計測員の J24 会員登録について

計測員の資格と、メンバーシップとは関連がないと考えられるためメジャラーの協会登録は必須としない。

(3) 監事の J24 会員登録について

監事は、J24 クラス協会理事外の方が望ましが、J24 クラス協会会員であっても問題はない。

監事のクラス協会登録は必須としない。

12. J24 クラス協会の組織図（町田）

組織図が存在しなかったため、新たに組織図を作成。

後日、協会 HP 上に掲載します。

13. 協会 HP について（町田）

事務局の窓口情報が掲載されていないため、その内容を含め全体的に見直しをします。

14. IJCA 会員登録（畠山）

2009 年度は、240 名で登録します。

（ワールドの枠に影響なし）

15. 2009 年度予算作成（町田）

2008 年度の会計報告を元に予算を作成。

特記は、これまでに協会資料が紙として残っているため電子化作業費を見積もった。結果、単年度収支は-5 万円となった。しかし、2008 年度の繰越金は約 5 万円で相殺されるため、2008、2009 年度の 2 年間で見ると収支はほぼ 0 円となる見込み。

以上

作成者：町田康一

2009/1/26